

明治大学教養論集 通巻379号
(2004・1) pp. 55—87

『文法規範』 卷一 —— 翻刻並びに注 ——

岩 井 憲 幸

凡 例

- 一 本稿は静嘉堂文庫所蔵『文法規範』六巻五冊（巻五は欠）の翻刻である。
今回は巻一のみを翻刻する。以下続刊。
- 一 大きさは巻一において184×130耗前後で他もほぼ同じ大きさだが、巻二のみ横幅がやや小さい。各冊すべて表紙、裏表紙を有する。各冊の墨附は次の通り。巻一 24丁、巻二 32丁、巻三 18丁、巻四 35丁、巻六 28丁。
- 一 本文は左横書きである。漢字・片仮字混じり文で、筆記体のロシア文字を含む。毎半葉11行。丁付けなし。
- 一 蔵書印についてしるせば、各冊表紙に〈大槻文庫〉の長方形朱印、各冊第1葉オモテ左下に〈大槻文彦蔵〉の長方形朱印、その上に〈静嘉堂蔵書〉の長方形朱印、さらに各冊最終葉に〈大槻氏印〉朱角印が捺されている。
- 一 『文法規範』は天下の孤本である。京都大学附属図書館に新写本を有するのみである。本書は1813年、文化10年松前において、ゴロヴニーンにより、もっぱらその記憶に従って書きとめられたロシア語文法書のロシア語テキストを^(補注1)、馬場佐十郎が主に翻訳したものである。これには足立左内、村上貞助、上原熊次郎が助力した。
- 一 『文法規範』はふつう『魯語文法規範』の名で知られており、なるほど表紙にもそうあるが、〈魯語〉の2字は後筆である^(補注2)。

一 翻刻にあたり次のような方針に従った。

1. 原本の体裁を第一に尊重する。
2. 行取りは原本通り。末に5行おきに行数を示す数字を付した。ただし、1行におさまりきらなかった場合は、その行の末に原本の行数を示した。
3. 漢字・片仮字はおおむね原本通り。合字は残す。ただし、原本において漢字下部に付された小字の送り仮字は中字にして行中に移す。小字双行の仮字は中字単行とする。文末には読点を付した。ルビはルビとして残した。
4. 朱筆は『 』を付して示した。
5. ロシア文字およびラテン文字は筆記体をローマン体になおした。ロシア文字筆記体の т・ш はそれぞれ下線・上線をともなって書かれる場合が多いが、元来の場合も後筆の場合も字体の一部とみなして校訂注には示さない。
6. ロシア文字による例語・例文中のパンクチュエーションは、原文の趣きを伝え、かつ馬場らの苦心するところでもあった。推定される必要最低限のコンマ、ピリオドは [] を付してこれを示した。
7. 和文・露文を限らず重複・欠落・誤り等、原文のままとする。これらについては注で一言する。その際当該箇所右肩にかっこを付した数字で注を示す。注は本文下に毎半葉毎別体裁で付す。
8. 注は校訂注を中心とする。京都大学附属図書館所蔵新写本を〈京大本〉と称する。
9. 注のロシア語の綴りに関しては、旧正字法により、1847年刊帝室学士院の『ロシア・教会スラブ語辞典』（参考文献B・2）に主に依拠した。ただし当時のロシア語の綴りは、概してラフであることを心得ておくべきである。

魯⁽¹⁾
語
文
法
規
範
卷
一

」(表紙)

注 1.「魯語」の2字京大本なし。

文 法 規 範 附 言

1

此編ハ嘗テ元老尹著述セル彼文法ノ規則ヲ書記スル

者也。名テ Грамматика ト云フ。和蘭ニスプレーカ

カコンスト⁽¹⁾ト云フモノ有リ。凡是ト相同シ。故ニ編中和蘭ト同義ノ

有ル者ハ其譯名亦今蘭學社中ニ通用スル者ヲ用フ。此

5

編表題ニ ^{短署} Краткая ^{学語} Грамма-

тика ^魯 Россіскаго⁽²⁾ ^語 языка

для ^為 Господъ ^君 Японскихъ ^{日本}

Переводчиковъ⁽³⁾ ^{譯家} написан-

ная ^{ワシレム} Васльемъ⁽⁴⁾ ^{ゴロヴィン} Голови-

10

нымъ⁽⁵⁾ 1813 Года въ

Матмаѣ. トアリ。」(1オ)

注 1. 「カ」重複。正：スプレーカコンスト。2. 正：Россійскаго。3. 正：Переводчиковъ。4. 正：Василиемъ。5. 正：Головиннымъ (ゴロヴニーン)。ただし幽囚中《Головин (ゴロヴィン)》と変名で通していた可能性がある(補注3)。

是ヲ譯スレバ約略魯西亞文範日本譯家諸

1

君ノ為メ千八百十三年元老尹松前ニ於テ誌ト云フ

「文化十年」⁽¹⁾

義ナリ。彼是ヲ著述セシ所以ハ即左⁽²⁾ノ自序中ニ載スルガ如ク

然リ。 馬場貞由謹誌

文 法 規 範 卷 一

5

元老尹自序

^{題 旨} Придисловіе⁽³⁾.

于 時 不 幸
Во время не счастливаго⁽⁴⁾

予ノ 在 於 松
моего пребыванія⁽⁵⁾ въ Мат-

前 時 彼ノ 帝國
маѣ, Когда его Имперя-

10

торскому⁽⁶⁾ Величеству

注 1. 京大本なし。2. 「左」とあることに注意。これによっても本書がゴロヴニンから示された横書きのロシア語テキストからの翻訳であることがわかる。3. 正 : Предисловіе. 4. 正 : несчастнаго. 5. 正 : пребыванія. 6. 正 : Императорскому.

日本 帝王
Японскому Императору 1
 憐恵 族 命
благоугодно было повелѣть
 自分 政家 為シ
своему правительству сдѣла-
 應接
ть сношеніе съ Русками⁽¹⁾
 是以 由テ
Короблями⁽²⁾ и чрезъ то 5
 開キ 誠 道
открылись вѣрныя⁽³⁾ средства
 適理 明辨
къ надлежащему объяснѣнію⁽⁴⁾
 不娛 事跡
пріятныхъ⁽⁵⁾ обстоятельствъ,
 招ク 程 多ク
навлекшихъ столь много
 拯援 ゴトク 兩國
безпокойствъ⁽⁶⁾ обѣимъ держа- 10
 故ヲ以テ
вамъ, послѣдовавшихъ отъ」(2 才)

注 1. 正 : Русками. なお形容詞 рускійはこれ以下でも頻出するように -c- を 1 つだけで綴る形が古くあった。当時は俗用として残っていたものか。viz. Поликарпов, 1704. 2. 正 : Кораблями. 3. 正 : в と р の間 1 字墨で抹消し, その上方にもを書く。4. 正 : объясненіе. 5. 正 : пря- の р と я の間にパーレンを用いて i を書き加える。「不娛」の前に「弁」の 1 字あり, 墨で抹消。6. 正 : безпокойствъ.

不法 所業
без законныхъ⁽¹⁾ поступковъ 1
 酋長 商
Командира Комерческаго⁽²⁾
 船 即時ニ 表シ
Судна Хвастова⁽³⁾, тогда въз-⁽⁴⁾
 誠 子
накъ истинной моей бла-
 感謝 可費
годарности къ достопочте- 5
 нныхъ Японскимъ Началь-
 恩付 著述
никамъ вздумалъ я напи-
 録官
сать для ихъ переводчиковъ

簡 署
Краткую рускую⁽⁵⁾ Грамматику,

イツ 有タ 至
но какъ я не имѣлъ при

10

此 何ニモ 入用, 欲スル所
себѣ ни какихъ нуждахъ」 (2 ウ)

注 1. 正 : беззаконныхъ. 2. 正 : Коммерческаго. 3. 正 : Хвостова. 4. 正 : въ
знакъ. 5. 正 : русскую.

今 書籍 即 書
для сего книгъ, то и писалъ

1

語記 此ニ由テ
изъ памяти⁽¹⁾; Слѣдователь-

能
но не возможно мнѣ было

集成 此 不 至
составить оную безъ весьма

幾許 不 足
многихъ не⁽²⁾ достатковъ⁽²⁾ и

5

遺忘 能 教
упущеніи⁽³⁾; но я могу смѣ-

言 皆
ло утверждать⁽⁴⁾, что все то,

思 言
что я могъ припомнить,

記 必 此
описано вѣрно и съ такою

委 細
подробностію, каковая⁽⁵⁾, по моему

10

思 是 的, 物
Сужденію о семь предметѣ,」 (3 オ)

注 1. 正 : памяти. 2. 正 : недостатковъ. 3. 正 : упущеній. 4. 正 : утверждать.
5. 正 : какая.

見ハス 入用
мнѣ показалась нужною.

1

若シ 此ヲ ヨリ
Если кому изъ⁽¹⁾

天命 是國
Рускихъ⁽²⁾ Богъ опредѣлить

不 大ナラ 此事 著
видѣть не большое сіе сочи-

述 此 食スル
неніе тотъ не долженъ ме-

5

誹評 為 誤リ
ня критиковать за ошибка;

如何トナレハ 記號
ибо онъ долженъ помнить,

第一 何レニモ 人
 во первых; что я человекъ
航海 故ニ 不
 морской следовательно не
余リニ 熟達 識
 съ лишкомъ искусной зна- 10
者 語 学 術
 токъ въ словесныхъ наука-」(3ウ)

注 1. изъ のうしろに Богъ あり。これを墨の棒線にて抹消。京大本も同じ。2. 正：Русскихъ。

第二 何ニモ
 хъ; а во вторыхъ, то что 1
此
 я писалъ сію грамматику
為メ 依之
 для японцевъ, и потому
用ル 此 詞
 употреблялъ такія слова
語 法
 и выражения, которыя оңи 5
可 ラル 容易 理會
 могли бы легко понять.

Вашліи Головинъ⁽¹⁾.

右⁽²⁾ 附 言 翻 譯

予不幸ニノ松前ニ在ル時 按ニ松前ニ捕ハレ居ル間ヲ云フ 大日本國王ノ
 憐恵ヲ以テ其官人ニ命シ魯西亞ノ船ト應接セシム。按ニナシリ島⁽³⁾ニ於テ酉年 10
 松前御役人ト魯ノ船長ト應接アリシヲ云フ。茲ヲ以テ不娛ノ事跡ヲ 按ニ不娛ノ事跡ト云フ
 ハ乱妨ノ始末ナラン」(4オ) 11

注 1. 正：Василій Головинъ。ただし、ГоловинъはГоловинъとあったかも知れない。1オ注5を見よ。2. 現実には「左」。ここでは日本流の訳文。以下にもしばしば出てくる。3. 正：クナシリ島。

宜ク辨明セスンハ能ハスト云フノ誠道ヲ開ケリ。按ニ其ノ所以ヲ辨セ子ハ事調ハサルト云
 フ誠ノ手續カ 1

知レタリト云フ意也。斯ノ如ク兩國ニ多ノ騷擾ヲ發セシハ即商船ノ酋
 長ホウヲントフ無法ノ乱行ヲ為センガ故也。余一朝

卒然トノ思ラク。彼ノ譯官ノ為ニ此約畧魯西亜学語法ヲ
 著ハシテ予カ感謝ノ意ヲ日本ノ諸官人ニ表セント。然レモ予是ヲ撰
 著スルニ必要ノ書籍ヲ貯ヘス。因テ唯諳記スル所ヲ書記スル而已。
 故ニ遺漏ナク全備撰述ヲ遂ル門能ハス。予敢テ言フ。予ガ必要
 ナラント考思フ門ノ考ヘ出ス儘ヲ専ラ爰ニ詳書スト。○若シ天命ニ
 因テ魯西亜ノ國人此小著述ヲ看ル門有ルトモ必此謬
 誤ヲ誹評スル門勿レ。如何トナレハ第一ハ予航海家ナリ。故ニ
 学語ノ法ニ於テハ甚熟達ノ人ニ非ス。第二ニハ此学語ノ法ハ日」(4ウ)
 本人ノ為ニ著セハ彼ガ容易ニ解シ得可キ言語及ヒ其文例ヲ
 用フレハ也。 瓦西利兀老尹 誌

Краткая 短略

Грамматика 學語

Россійскаго⁽¹⁾ языка для 5

Господь Японскихъ Перевод-

чиковъ⁽²⁾ написанная

Васльемъ Головинымъ⁽³⁾

1813 Года въ Матмаѣ.

約畧魯語文範 日本譯家諸君ノ為ニ 10

千八百十三年瓦西利兀老尹松前ニ於テ誌ス。」(5オ)

注 1. 正 : Россійскаго. 2. 正 : Переводчиковъ. 3. 正 : Василиемъ Голо-
 виннымъ. 鉛筆で下線。3~9行両側に鉛筆囲み。京大本ともになし。

文 法 規 範 総 論 1

夫レ Грамматика 文範ハ精約ニ語り

適正ニ書記シ得ルノ法ヲ教ル者也。此中ヲ四箇ニ分ツ。

其 ^{フルートガラフィヤ} Ортография⁽¹⁾ 是ハ辞ヲ正記スル法ヲ教ル也。
 語辞ヲ書記シ綴ルノ法ニモ此処ニ出メ用ナシ。故ニ是ヲ挙ズ。

- 其二 ^{エツィモロギヤ} **Этимологія** 是ハ語類ノ性品ニ區別アルヲ教フ。 5
- 其三 ^{シンタクシス} **Синтаксисъ** 是ハ言辭章句ヲ連接スル法ヲ教フ。
- 其四 ^{Прозодія} **Просодія** 是ハ辭ノ讀習ヲ教ルナリ。此四分スル中ニテ

所謂 **Ортографія** ハ **Азбукѣ**⁽²⁾ヲ以テ辭ヲ書キ綴ルノ

法ナレハ爰ニ出シテ益ナシ。因テ此編ハ畧ス。

Этимологія. 辭品區別之学 10

總テ魯西亞ノ辭類ヲ分テ八種トナス。是ヲ称メ」(5ウ)

注 1. 正：Ортографія. 2. -ѣ-を鉛筆で抹消し，その上方に（и）と鉛筆で書く。京大本すべて墨にて行なう。

Части рѣчи⁽¹⁾ 辭品科ト云。其各名ニハ 1

第一 **Имя** 名辭。是ハ品物ニ用ル辭也。如設

перо⁽²⁾. 筆 [,] **бумага**⁽³⁾, 紙 等ノ如キ即是也。

第二 **Мѣстоименіе** 代名辭。是ハ

имяニ代テ用ル辭也。如設 **Я** [,] **ты** [,] **онъ** 是ナリ。 5

第三 **Глаголь**⁽⁴⁾ 働辭。是ハ動他○被動

及ヒ動靜ヲ示スニ用ル辭也。如設 **Я**⁽⁵⁾ **пишу**

грамматику [,] 予⁽⁶⁾文範ヲ書ス。 **ты** **люби-**

бимъ **богомъ** [,] 你被神愛⁽⁷⁾。 **Онъ жи-**

ветъ **счащливо**⁽⁸⁾ [,] 彼ハ幸福ニ渡世ス。等ノ成語 10

中ニテ其 **пишу** 書ス [,] **любимъ** 愛セ^ラ被ル [,]」(6オ)

注 1. **Части рѣчи** はやや続け様に書かれており，2語間に鉛筆で縦線がひかれて分綴が示されている。京大本も同じ。2. оの上に鉛筆でアクセント記号。京大本も同じ。3. 語中の аの上に鉛筆でアクセント記号。京大本も同じ。4. оの上に鉛筆でアクセント記号。京大本も同じだが，墨書。5. 「我」に鉛筆で格助詞「ハ」を付加。京大本「ハ」は墨書。6. 「予」に鉛筆で格助詞「ハ」を付加。京大本「ハ」は墨書。7. 「你ハ被ル神ニ愛セ」と格助詞・送り仮名等を鉛筆で付加。このうち京大本は「ハ」「ル」「ニ」を墨書。「セ」はなし。8. 正：счащливо。

живеть 渡世ス 等ノ類ヲ Глаголь ト云フ也。

1

第四 Причастіе 分働辞。是ハ名辞ト

働辞トヲ連合スルニ用フル辞也。如設ハ ^人Человѣкъ,

^{是トコロ}который ^{昨日}вчера ^{来レル}приѣхаль⁽¹⁾ [,] ^{語レリ}ска-

^{ニ于}заль мнѣ. ^{昨日}昨日来レル所ノ人カ予ニ語レリ。是ニ代ヘテ

5

^{昨日}Вчера ^{来リシ}приѣхавшей⁽²⁾ ^{人ガ}человѣкъ

^{ソレ語}сказаль мнѣ. 訳同上。按ニ前句ノ при[-]

ѣхаль⁽¹⁾ 来レリト云フハ働辞也。後句ノ приѣхав-

шей⁽²⁾ ト云フハ名辞ノ ^{人ガ}человѣкъ ノ冠辞ニナリテ下ニ續ク辞ナリ。

此 ^{人ガ}приѣхавшей⁽²⁾ ノ如キヲ причастіе ト云ナリ。

10

第五 Нарѣчіе 属用辞。是ハ時節〇所在」(6ウ)

注 1. 正: приехалъ. 2. 語末 -ей の e を鉛筆で i に訂正。京大本は明瞭に i とする。
すなわち -вѣй. 正: приѣхавшій. ただし -вѣй も許容形。

及ヒ所以ヲ短簡ニ云ヒ示ス辞ナリ。如設ハ ^今теперь [,]

1

^遠далеко 等ノ類是也。

第六 Предлогъ 冠辞。是ハ事物ヲ云フ辞ノ

上ニ冠メ其動静ヲ示ス辞也。如設 ^于Я ^{ム住}живу

^于въ⁽¹⁾ ^{前松}Матмаѣ [,] ^彼Онъ

5

^{ル寄近}приближается ^于къ⁽²⁾ ^{衰老}старости.

彼ハ老衰ニ近寄ル。ト云フ成語中ノ въ⁽³⁾ [,] къ⁽⁴⁾ ヲ предлогъ ト云フ。

第七 Союзъ 助辞。是ハ二句ヲ一連スル時ニ用ヒ

亦不定時ノ句ニ用フ。如設 ^予Я ^老старъ [,] ^然а⁽⁵⁾ ^彼онъ

^{若シ}молодъ [,] ^{若シ}予老然彼若。Если⁽⁶⁾ ^于я

10

^死умру [,] ^則то⁽⁷⁾ ^彼онъ ^可будетъ ^終жалѣть.⁽⁸⁾」(7オ)

注 1. 「于」の前に鉛筆で〇。京大本同じ。2. 「于」の前に鉛筆で〇。京大本同じ。
3. въ の上方に鉛筆で〇。京大本同じ。4. къ の上方に鉛筆で〇。京大本同じ。5. а

と「然」と間に鉛筆で○。京大本なし。6. 「若シ」の前に鉛筆で○。京大本同じ。7. 「則」の前に鉛筆で○。京大本同じ。то のうしろに鉛筆で く, > あり。京大本墨書で く, > あり。8. 京大本 く, > なし。

若シ予死ナハ則彼ハ可愁。ト云フ成語中ノ а, если⁽¹⁾ 1
等ノ辞ヲ Союзъ ト云フ也。

第八 Мездумѣніе⁽²⁾ 嗟嘆辞。是ハ
意誠ノ發動ヲ示ス辞也。如設 Ахъ, охъ. 漢人ノ
嗚呼ナド云ヘルガ如キノ類是也。 5

名 辞 篇 第 一

原名 имя 亦 имени⁽³⁾ ト云フ。
夫レ Имя ニ 二種有リ。其一ヲ實名辞
Существительное имя ト云フ。
其二ヲ Прилагательное⁽⁴⁾ имя 10
属名辞ト云フ也。」(7ウ)

注 1. а, если の各上方に鉛筆で○。さらに если のうしろに鉛筆で то と書きこむ。
京大本 а, если 各上方の○なし。то は墨書にてあり。2. 正: Междуметіе. あるいは
Междометіе. 3. 正: имена. 4. 語中の я を鉛筆で а と訂正。京大本は墨で明瞭に а
とあり。

第一 Имя Существительное 1

實名辞ハ諸實體⁽¹⁾アル物ノ名是也。則如設ハ
府 家 衣服
Городъ, домъ, халатъ 等ノ如シ。

第二 Имя прилагательное

属名辞ハ實體物ノ形容ヲ云フ辞也。如設ハ 5
многлюдный⁽³⁾ 人多ノ[,] Деревя-
нный 木造ノ[,] Шелковой⁽⁴⁾ 絹ノ等是也。

又一ニ名辞ヲ分テ四種トナス。

其一 Существительное настоящ-⁽⁵⁾

шее имя 有體名辞ト云フ。

10

其二 Наричательное имя」(8才)

注 1. 「實」と「體」の間に「物ヲ」とあつて抹消。2. 京大本も朱書き。3. 語中 -гл- の間に鉛筆にて o を書き込む。京大本 o は墨書。さらに京大本, 語尾の -ный を -ный と綴る。4. e の上方に鉛筆で < > とアクセント記号を付す。京大本 < > 墨書。5. 京大本 настая-。

無體名辞ト云フ。

1

其三 Числительное имя

数名辞ト云フ。

其四 Собирательное имя

復員名辞ト云フ。

5

第一ニ云ヘル有體名辞 Существитель-

ное имя ハ 眼目ヲ以テ見知ル可キ體アル物ノ名ヲ云フ也。

如設ハ Камень⁽¹⁾, 石 [,] Вода, 水 [,]

Дерево, 木 等ノ類是也。

第二ニ云ヘル無體名辞 Наричате-

10

льное имя ハ 眼目ヲ以テ見ル可ラズ。唯意識ヲ」(8ウ)

注 1. Камень, Вода, Дерево のうしろの < > は原本のまま。このような書き方は以下にもでてくるが、以後一々指摘しない。

以テ知ル物ノ名ヲ云フ也。如設ハ Разумъ, 智 [,]

1

Ндежа⁽¹⁾, 欲 [,] печаль. 愁 等類是ナリ。

第三ニ云ヘル数名辞 Числьтельное⁽²⁾

имя ハ何ニ依ズ物ノ員数ヲ云フ辞ノ名也。按ニ一對二連三具

ナド云ヘル。此對連具等ノ名辞ヲ云フ。

5

第四ニ云ヘル復員名辞 Собирательное

имя ハ一名ニテ多物ヲ示ス辞也。如設ハ

Армія, 軍旅 [,] Флотъ⁽³⁾, 群船⁽⁴⁾ [,]

Стадо. 群衆 等ノ類是也。

又名辞ニ Общія имена 通名ト

10

Собственныя 本名トノ別有リ。」(9 オ)

注 1. 鉛筆で〈Надежда:〉と書き込み訂正。京大本なし。2. 正: Числительное.
3. 語末の ь を鉛筆にて ь と訂正。京大本 ь と墨書。4. 上方に「一□」と鉛筆書きあり。2字目読めず。京大本なし。

其通名ト云フハ概メ云フ名也。如設 Государство,

1

官理 [,] Городъ, 府 [,] Осторова⁽¹⁾, 島 等ノ類是ナリ。

其本名ト云フハ唯一物ヲ斥テ云フ名辞也。如設ハ

Японія, 日本 [,] Матмаъ 松前 [,] Итурпу イヅウルプ⁽²⁾等ノ類是ナリ。

或ハ物ニ對シ事ニ比スル時名辞ニ因テ本名変メ通名トナリ又

5

通名変メ本名トナルヲ有リ。如設 Японецъ, 日本人ト

云ヘル辞 теске⁽³⁾貞助ト云ヘル辞ニ對スルハ Японецъ ハ

通名ニメ теске ハ本名也。然レ Японецъ ノ辞

Человѣка⁽⁴⁾人類ノ辞ニ對スルハ即本名トナル也。

凡名辞ハ Родъ⁽⁵⁾, 種類 [,] Числѣ⁽⁶⁾, 單復及ヒ

10

Падежъ⁽⁷⁾. 転格ニ随テ是ヲ曲折轉用スル也。」(9 ウ)

注 1. 正: Острова. 2. Матмаъ 以下は双行。なお Итурпу は現代語は Итуруп. 3. теске の次に小字抹消あり。文字あるいは記号か不明。京大本同じ。4. 正: Человѣкъ. 5. 正: Родъ. 6. 正: Число. 7. 正: Падежъ.

名辞種類 Роды имянь⁽¹⁾. 是ニ四箇有リ。

1

第一 Мужескій родъ. 陽種

第二 Женскій родъ. 陰種

第三 Средній родъ. 中種

第四 Общій родъ. 普通種

5

Мужескій Родъ. 陽種第一

凡ソ陽種ニ属スル者第一ハ諸活物牡雄ノ名也。第二ハ

男子ニ属スル諸官名也。但 Воевода, 隊長 [,]

Паша, 官名 [,] Ага. 同上 等ノ如キハ陰種ノ語尾

有ト雖_レ 按ニ語尾ニ a 字アル者ハ陰種ナリ。後ニ出タリ。猶陽ニ加フル也。第三ハ語尾

ъヲ

10

以テ止ル名辞也。陽種ノ語類先ツスノ如シ。然_レ 異邦ノ人ノ」(10オ)

注 1. 正: имень. ただし имянь の形もロモノソフ (参考文献 A-1. 以下同じ) は許容している。

魯西亞ヲ學フ者ノ如キハ一法ヲ設テ此ニ倣テ他ヲ推知ス可ラス。

1

如何トナレハ語尾ノ字同ノ種類ヲ異ニスル辞有り。如設ハ

Корь⁽¹⁾, 水痘ノ類 [,] Якорь, 碇 [,] Благо-⁽²⁾

дѣтель. 恩恵 等ハ陽種ニシテ Честъ, 尊敬 [,]

Милость, 恵憐 [,] Добродѣтель.

5

良善ノ 如キハ陰種ナレハ也。故ニ是ハ習練ニ因テ知り得ルノ外術ナシ。

Женскій Родъ. 陰種第二

凡陰種ニ属スル物ハ第一ハ諸活物牝雌ナル物ノ

名皆此種類也。

第二ハ婦人ニ属スル官名也。

10

第三ハ端尾ノ a 字ニテ止ル名辞也。但シ悉ク然ト云ニ」(10ウ)

注 1. Корь はふつう女性すなわち陰種。ただし Поликарпов, 1704 あるいは方言では男性すなわち陽種。また最近刊の11-17世紀ロシア語辞典では男性および女性, 18世紀ロシア語辞典は女性および男性と標示する。2. 正: Благо-.

非ス。稀ニ a 字ニ止ル名辞ノ陰種ナラサル有り。如設ハ

1

Сатана, 鬼魔 [.] Дятна⁽¹⁾. 若年ノ

類也。然_レ斯ノ如ハ少シ。

第四ハ端尾 я 字ニ止ル名辞也。如設ハ

Молнія, 雷 [.] Стихія. 元行 等ノ如シ。

5

然_レ я 字ニ止テ猶他種ノ辞有リ。即 пламя⁽²⁾,

火炎 [.] племя, 苗裔 [.] броря⁽³⁾. 重任

等ハ中種ニ_レ Судья. 問官ハ 陽種也。

第五ハ端尾 ъ ニテ止マル名辞也。ъ ニテ止マル名辞ハ多分

陰種也。然_レ亦陽種ナルモ有リ。是ヲ辨別シ得ル_レハ習練ヲ以テ

10

スルノ外ニ術無シ。

注 1. 正: Дѣтина. 2. м を抹消してさらに下方に м を書く。京大本同じ。3. 正: время.

第六ハ地名官理郡縣等ノ名ノ端尾 я 字ニ止マル者ハ

1

皆是也。但地名ト雖_レ端尾 я 字ニテ止マラサルモノハ陽種

也。如設ハ Китаи⁽¹⁾, 支那 [.] тибетъ,

チベツ⁽²⁾等ノ如シ。如何トナレハ много людной⁽³⁾

Китаи⁽¹⁾, 人多ノ支那 [.] древной⁽⁴⁾ тибе-

5

тъ, 往古ノチベツト云テ много людная⁽⁵⁾

Китай, 又 древная⁽⁶⁾ тибетъ トハ

云ハ不レハ也。

Средній родъ [.] 中種第三

凡中種ニ属スル者ハ第一ハ端尾 е⁽⁷⁾字ニテ止ル名辞

10

也。如設 Солнце, 太陽 [.] Море, 海 [.] (11ウ)

注 1. 正: Китай. 2. 「チベツ」はまま。3. 正: многолюдной. 4. 正: древней. 5. 正: многолюдная. 6. 正: древняя. 7. 「尾」と е の間に я がありこれを抹消する。京大本同じ。

Горе, 思按 [,] Желаніе. 祝賀 等ノ如シ。 1

第二ハ端尾 о 字ニ止ル名辞也。如設ハ Дерево, 木 [,]

Золото, 金 [,] Дѣло. 事 等ノ如シ。

第三ハ端尾 я 字ニテ止ル名辞也。如設ハ

Время, 時分 [,] пламя. 炎ノ 類也。但シ 5

я 字ニテ止マル者ハ多分陰種也。是ヲ辨別スルノ術ハ他ナシ。

唯習練ニ因ルノミ。

Общій родъ. 普通種第四

普通種ノ名辞ト名ル者ハ或ハ陽種トナリ或ハ陰種トナリ如設ハ

пьяница⁽¹⁾, 醉客 [,] ханжа, 令色人 [,] 10

побродяга, 浮浪人 [,] дитя. 小兒 等ノ類」(12オ)

注 1. 正 : пьяница.

也。此種類ノ辞魯語ニハ甚少シ。右ノ外尚少シク有ノミ也。 1

[О]⁽¹⁾ Числь. 單復 員数ニ二種有り。

其一 Единственное Числь⁽²⁾, 單員

其二 Множественное Числь⁽²⁾. 復員

單員ハ一箇一物ヲ斥テ云フ時ニ用ル法也。如設ハ 5

Одинъ человекъ⁽³⁾, 一人 [,] Одна Ло-

шадь, 一馬 [,] Одно дѣло. 一事 等ノ如シ。

復員ハ二箇二物以上ヲ斥テ云フ時ニ用ル法也。如設ハ

Два Человѣка⁽⁴⁾, 二人 [,] три Ло-

шади, 三馬 [,] пять дѣлъ. 五事ト為ス 10

是也。按ニ斥ス所ノ物ノ單復ノ違ニ因テ辞尾ヲ轉スルヲ云フナリ。即 Человѣкъ,」(12ウ)

注 1. 23オの《О Степеняхъ уравниенія》と О が用いられていることに従う。ゴロヴニーンのテキストには《О числь. [数について]》とあったと推定される。なお、ロモノーソフも同じ。2. 正 : Число. 3. 正 : человекъ. 4. もになぞりあり。京大本

明らかに。なお以下数詞と結合する名詞については、数のみならず格も問題となるが、ここではそこ迄は言及されず、かつまた数についても誤認があるが、今問題とはしない。

單員ヲ Человѣка 復員トナシ Лошадь 單員ヲ 1

Лошади 復員トナシ дѣло 單員ヲ дѣлъ

復員トナスノ類ニテ皆語尾ノ轉異ヲ云フ。魯語ノ中ニハ復員ノ例ニ

書記ノ猶一物ヲ斥ス者有り。如設 ^{モトヒキ} штаны 褲子 [,]

Сани 橇 [,] ножницы 鋏 等ノ如シ。然レハ 5

此類ハ最少シ。

凡名辞ノ單員ナル者ヲ復員ノ辞トナスニ其法一ナラズ。各語ノ

尾ナル字ニ因テ異ニスル也。又辞ニ因テハ其定法ナキ者有り。如設ハ

Честъ 尊敬ハ單員 Чести ハ復員

Совѣсть 意ハ單員 Совѣсти ハ復員也。 10

偕 Мать 母ト云フ語アリ。復員ノ時ハ Мате-」(13オ)

ри トナシテ Мати トナス⁽¹⁾。是等ハ習練ニ因テ知り得ルノ外 1

術ナシ。凡單員辞ノ復員ニ変スル法ノ大約左ニ記ス。

第一 單ノ時ニ辞尾 а 字ニテ止ル者ハ復員ノ時 ы 或ハ и ノ

字ニ変スル也。如設ハ單員ノ ^{婦人} Женщина ハ復員ニテ

^{婦人等} Женщины 他。Вода, 水ハ單 Воды ハ復。 5

其他 Книга 書籍ノ單員ヲ Книги ト復員ニナスナリ。

又復員ノ辞尾其冠ル所ノ数字ニ因テ変スルヲ有り。如設ハ

три женщины 三女 [,] пять

женщинъ 五女 [,] двѣ книги 二書 [,]

шесть книгъ 六書 等ノ如シ。 10

凡名辞ニ冠ル数辞ノ尾字 ъ 或ハ ѣ ニ止ルハ復員ノ辞尾ニ」(13ウ)

注 1. 「トナス」は「トナサス」の誤り。

用ル **ы** 或 **и** ノ代ニ **ъ** ヲ用フ。是大凡通例ナリ。 1

Давяносто⁽¹⁾九十 [,] Сто一百 [,] двес-
ти二百 [,] триста三百 [,] тысяча
一千 等ノ數字ハ其尾 **ъ** 或 **ь** ニ止ラント雖_モ是ニ属スル
名辞ノ尾字ヲ変スル_ヲ猶右ノ如シ。即如設ハ **пила**
鋸ハ單員辞也。是ニ Сто一百ヲ 冠スル時ハ **пила** ヲ
пиль ニ作テ Сто **пиль** 百鋸トナス也。
第二ハ單員ノ時辞尾ニ **е** 字ニテ止ル者ハ復員ノ時或ハ
а 或 **ы** 或 **я** 或 **и**⁽²⁾ 或 **евъ** 等ノ字ニ変スル也。
如設ハ Солнце ハ日輪 單員ナリ。復員ノ寸ハ Солнцы,
три Солнца 三日 [,] пять Солн- (14オ) 10

注 1. 正 : Девяносто. 2. 正 : ей.

цевъ 五日トナシ又 Море 海ハ 單員也。 1

復員ノ寸ハ Моря, два моря 二海 [,]
шесть морей 六海トナス。亦 Желаніе
賀ハ單員辞也。復員ノ時ハ Четыре
желанія 四賀 [,] Семь желаніевъ 七賀トナス也。 5

第三 單員ノ本名辞ハ凡皆唯引_ク **и** ニ止ル。如設ハ
Господинъ триполи _{人名} テリポリ君
Городъ Кочліари⁽¹⁾ _{地名} コチリアリ府
Городъ Нови _{ノウウイ} 新府 等ノ如シ。此類 10
大凡ハ復員ノ時モ辞尾猶変スル_ヲナシ。然_レ前ニ **ъ** 或 **ь** ニテ止ル (14ウ)

注 1. 綴り未確認。

数辞ヲ冠ル時 **и** ヲ **и**⁽¹⁾ ニ作ル也。 1

第四 端尾^{ツマル}ニ結^イ字アル名辞ノ復員^ルナル時ハ其^イヲ

ヤ或ハ引^クニ轉スル也。但其名辞ノ上ニ^Ъ或ハ^Ьニテ止ル

数辞ヲ置時ハ^И或ハ^Яヲ^{ЕВЪ}ニ作ル也。如設ハ

Воробей 雀ハ 単員ナリ。Воробьи ハ復員ナリ。

5

又 Два воробья 二雀 [,] десять

воробьевъ 十雀トナシ Муравей 蟻ハ単ナリ。

復ノ時ハ Муравьи 二作り又 три муравья

三蟻 [,] Двенадцать⁽²⁾ муравьевъ

十二蟻トナス也。

10

第五 端尾ニ^О字ニ止ル名辞ノ復員ノ時ハ^О字ノ代ニ」(15オ)

注 1. 正 : ей. 2. 正 : Двѣнадцать. ただしロモノソフハ Двенадцать の綴り。

ья 或ハ^А或ハ^{ЕВЪ}ニ轉スル也。如設ハ

1

Дерево 樹木ハ単員ナリ。復員ノ時ハ Деревья Нари。

Два дерева 二樹 [,] пять деревь-

евъ 五樹トナス也。又 перо 筆ハ単員ナリ。復員ノ時ニハ

перья Нари。Два пера 二筆 [,] Сто пер-

5

ьевъ 百筆トナス也。辞尾ノ轉例凡先^ツスノ如ト雖^モ

又此例ヲ以テ押ス可ラ^ル有リ。如設 Яблоко 林

檣ハ単員也。復員ノ寸ハ Яблоки トナシ或ハ Два

Яблока 二ノ林檎 或ハ Пять ябло-

ковъ⁽¹⁾ 五ノ林檎トナス也。又 Чудо 珍品ハ単員ナリ。

10

復員ノ寸ハ Чуды トナシ又 Два Чуда 二ノ珍品」(15ウ)

注 1. 現代語ではふつう Яблок と中性の複数・生格となる。ただし当時は Яблоковъ の形もあった。参考文献 B.3 を参照。

пять чудъ. 五ノ珍品トナス。又 Святило. 天象ハ単員也。

1

復員ノ時ハ Святѣлы トナシ或ハ Два Святѣла ニノ天象 [,]

Шестѣ Святѣлы ト作ス也。斯ノ如ク辞ニ因テ尾ノ轉例ヲ

異ニスレハ爰ニ盡シ難シ。宜ク習練ヲ以テ是ヲ知ルヘシ。

第六⁽¹⁾ 単員ノ Собственныя⁽²⁾ имена 本名辞ハ

5

端尾凡皆 у 字ニ終ル。如設ハ Господинъ Линденау [,]

Господъ Людау⁽³⁾ 人名 等ノ如シ。復員ノ時ハ此 у 字ヲ вы

或ハ вовъ ニ代フ。即 Линденавы, Линденавовъ ト作ス也。

第七 ъ 字ニテ端尾ノ止マル名辞ハ復員ノ時ニ至テハ此 ъ ヲ и, бя,

Евъ, а, ы, овъ 等ニ代フル也。亦時トシテハ単員ノ如ク復員モ其辞ノ

10

字変スル事ナキヲアリ。即其例如左。」(16オ)

注 1. 「第」と「六」の間に「五」を書き抹消。京大本「五」は抹消せず。2. 京大本 Собственныя。3. 綴り未確認。

單員	復員				
Чайникъ ⁽¹⁾ 茶碗	Два	чайникъ, ⁽²⁾ ки.	Пять	чайниковъ. ⁽³⁾	1
Стуль. 椅子	Два	Стула,...ля. ⁽⁴⁾	Пять	Стульевъ.	
Столъ. 卓子	Два	Стола,...лы. ⁽⁴⁾	Пять	Столловъ.	
Человѣкъ. 人	два	Человѣки, ⁽⁵⁾ люди. ⁽⁴⁾	Пять	Человѣкъ. ⁽⁶⁾	

第八 単員ノ Собственныя имена 本名辞ニ ы

5

字ニテ終ルアリ。如設ハ Селеніе Шаромы. シヤロメエ⁽⁷⁾ 村ト

云フ類也。是ハ復員ノ時モ猶其尾字轉スル⁽⁸⁾ 尚⁽⁸⁾アリ。又此 ы 字

овъ ニ轉スル⁽⁸⁾ 有リ。即 Много Этакѣхъ Шаромовъ

есть……是ノ如キ⁽⁸⁾ ハシヤロモフハ……アリト云フガ如シ。

第九 ъ 字ニ終ル名辞復員ノ寸ハ其 ъ 字ヲ я, и, ей 等ニ

10

轉スル⁽⁸⁾ 有リ。如設」(16ウ)

注 1. 正 : Чайникъ。2. 正 : чайника。3. 正 : чайниковъ。4. これらの文字は、それぞれ前の語の下方に二段に書かれているが、今一段に変更した。なお、この部分は

чайники も含めて、数詞との結合とは関わらない複数主格形とみて、そのままにしてある。5. 正：Человѣка。6. 正：Человѣковъ。7. 京大本「シヤロメエ」。8. 「ㄗ」の上方に小字で書かれているが、今ここに移す。

單員	復員		
Добродѣтель. <small>善人</small>	Двѣ _二 добродѣтель. ⁽¹⁾	Много _多 добродетелей. ⁽²⁾	1
Честь. <small>敬</small>	Три _三 Честь. ⁽³⁾	Много _多 Честей.	
Якорь. <small>錨</small>	Два _二 Якорь. ⁽⁴⁾	Пять _五 Якорь. ⁽⁵⁾	
Благодѣтель. <small>仁人</small>	4. благодѣтеля. <small>四</small>	6. благодѣтелей. <small>六</small>	
第十 魯語ノ名辞ニモ或ハ ю 字ニテ終ル辞ナシ。異邦ノ辞ニハモ [,] ю 字			5
等ニテ終ル辞有リ。然レ是ハ復員ノ寸モ猶同メ轉スルㄗナシ。即 пранѣ, девю, ⁽⁶⁾ ノ			
如シ。			6
第十一 я 字ニテ終ル名辞復員ノ時ハ或ハ ени, 或ハ ена, 或ハ			
янѣ, 或ハ и, 或ハ ѣ 等ニ轉メ一定ナキ者アリ。如設ハ племя,			
苗裔ト云ル單員ノ辞復員ノ時ハ Два племени, племена.			
二苗裔 [,] пять племянѣ. ⁽⁷⁾ 五苗裔ト轉シ又 баня.			10
浴桶ト云ル單員ノ辞復員ノ時ハ Двѣ бани. 二浴桶 [,] (17才)			

注 1. 正：добродѣтели。2. 正：добродѣтелей。3. 正：Чести。4. 正：Якоря。5. 正：Якорей。6. пранѣ 以下双行。今単行になおす、綴り未確認。7. ふつう племянѣ。しかし племянѣ も許容形。

пять банѣ. 五浴桶ト轉スル也。名辞ニ因テ復員ノナキモノアリ。
如設諸金ノ名ノ如キ Золото. 金 [,] Серебро. 銀 [,]
Железо.⁽¹⁾鉄. 等ノ類是也。

[O]⁽²⁾ Падежахъ. 轉格

падежей семь 轉格ト譯ス。七等アリ。 5

第一ハ имянителной.⁽³⁾ 主格

第二ハ Родителной. 生格

第三ハ	Дательной.	與格	
第四ハ	Винительной.	役格	
第五ハ	Звательной.	呼格	10
第六ハ	Творительной.	奪格」(17ウ)	

注 1. 正：Жельзо. 2. 23オの《О Степеняхъ уравниенія》にならう。3. 正：именительной.

第七ハ Предлежной.⁽¹⁾ 示格 1

此 Падезъ ト云フハ如何ナル者カ。下ニ文例ヲ出ス。以テ推シ知ルヘシ。

第主 一格	<small>轉格 二人ヲ</small> Человѣка	<small>造タ</small> Создалъ	<small>一ハ神</small> Богъ.	ハ	
第生 二格	<small>是ハ</small> Таково	<small>リナ</small> Есть	<small>ミ恵</small> воля ⁽²⁾	<small>ノ神</small> Бога.	ノ
第與 三格	<small>二託セヨ</small> Поручай	<small>事ハ</small> дѣла	<small>カ己</small> Свои	<small>二神</small> Богу.	ニ
第役 四格	<small>二尊シタフタリ</small> Люби	<small>又</small> и	<small>ヨセリタ怖レ</small> боися ⁽³⁾	<small>一ヲ神</small> Бога.	ヲ
第呼 五格	<small>你</small> Тебя	<small>二頼メ</small> призываю	<small>自由自在ノ</small> [,] всемогущій ⁽⁴⁾	<small>二神</small> Богъ. ⁽⁴⁾	ヨ
第奪 六格	<small>世界ハ</small> Свѣтъ	<small>ル造</small> Созданъ ⁽⁵⁾	<small>リヨ神</small> Богомъ.		ヨリ
第示 七格	<small>二尊信セヨ</small> Помышляй ⁽⁶⁾	<small>一テ於</small> О	<small>二神</small> Богъ.		於テ

凡 имена 名辞ノ падежахъ⁽⁷⁾轉格ニ因テ 10

轉移スルヲ Склоненіе 轉移ト譯ス。是ニ六種アリ。

注 1. 正：Предложной. 2. はじめ боля と書き語頭を в- と訂正して、一部抹消。京大本同じ。3. 正：бойся. 4. всемогущій Богъ. の2語は前の語の下方に書かれているが、今移した。5. 正：Созданъ. 6. 京大本 Помишляй. 7. 正：падежи.

此中ニテ五種ハ Существоительное имя. 1

實名辞ノ轉例也。尚一種ハ Прилагательное
имя. 属名辞ノ轉例也。

Склоненія имени⁽¹⁾ Существоительны-

хъ [:] Склоненіе первое. 5

實名辞第一之轉例

單員 此ニ出ス所ハ陽種及ヒ陰種ノ а 字ニ止ル名辞ト陰種ノ я 字ニ止マル名辞ノ格ニ因テ轉移スル

例ヲ示ス。

7

一格	Воевода.	隊長ハ	Луна.	月ハ	Няня.	賄賂ハ	
二格	Воеводы.	全ノ	Луны.	○ノ	Няни.	○ノ	
三格	Воеводѣ.	全ニ	Лунѣ.	○ニ	Нянѣ.	○ニ	10
四格	Воеводу.	全ヲ	Луніу. ⁽²⁾	○ヲ	Няню.	○ヲ	
五格	Воевода.	全ヨ	Луна.	○ヨ	Няня.	○ヨ	
六格	Воеводою.	全ヨリ[,]ト	Луною.	○ヨリ[,]ト	Нянею.	○ヨリ	
七格	О воеводѣ.	全ニ於テ	О лунѣ.	○ニ於テ	О нянѣ.	○ニ於テ」	(18ウ)

注 1. 正 : именъ. 2. 正 : Луну.

復員

1

一格	Воеводы. ⁽¹⁾	隊長ハ	Луны.	月ハ	Няни.	賄賂ハ	
二格	Воеводѣ. ⁽²⁾	○ノ	Лунѣ.	○ノ	Нянѣ.	○ノ	
三格	Воеводамъ.	○ニ	Лунамъ.	○ニ	Нянямъ.	○ニ	
四格	Воеводаы. ⁽³⁾	○ヲ	Луны.	○ヲ	Няны. ⁽⁴⁾	○ヲ	5
五格	Воеводы.	○ヨ	Луны.	○ヨ	Няни.	○ヨ	
六格	Воеводами.	○ヨリ[,]ト	Лунами.	○ヨリ[,]ト	Нянями.	○ヨリ	
七格	о Воеводахъ. ⁽⁵⁾	○ニ於テ	О лунахъ.	○ニ於テ	О няняхъ.	○ニ於テ	

Склоненіе второе. 轉例第二

爰ニ示ス所ノ中種ノ Е ノ字及ヒ О 字ニテ止マル名辞ノ轉移スル例ヲ出ス。

10

單員

一格	Сердце.	心ハ	Горе.	苦心ハ	Болото.	池ハ	
二格	Сердца.	ノ	горя.	ノ	болота.	ノ	
三格	Сердцу.	ニ	горю.	ニ	болоту.	ニ	
四格	Сердце.	ヲ	горе.	ヲ	болото.	ヲ	15

五格	Сердце.	☐	горе.	☐	болото.	☐	
六格	Сердцемъ.	...	горемъ.	...	болотомъ.	...	
七格	О сердцѣ.	...	О горѣ.	...	О болотѣ.	...	」(19才)

注 1. はじめ Воеводады とあって, -да- を抹消。京大本同じ。2. はじめ Воеводовъ とあって, -до- を抹消。京大本同じ。3. 正: Воеводѣ. 4. 正: Нянь. なお京大本は Няни. 5. 前置詞の о は叙下方に小書き。今移した。

復 員

1

一格	Сердца.	心ハ	Горя. ⁽¹⁾	苦心ハ	Болоты. ⁽²⁾	池ハ	
二格	Сердцѣ. ⁽³⁾	...	горѣи. ⁽⁴⁾	...	болотѣ.	...	
三格	Сердцамъ.	...	горямъ.	...	болотомъ. ⁽⁵⁾	...	
四格	Сердца.	...	горя.	...	болоты. ⁽⁶⁾	...	5
五格	Сердца.	...	горя.	...	болоты. ⁽⁷⁾	...	
六格	Сердцами.	...	горями.	...	болотоми. ⁽⁸⁾	...	
七格	О сердцахъ.	...	О горяхъ.	...	О болотохъ. ⁽⁹⁾	...	

Склонение третіе. 轉例第三

爰ニハ ь 字及ヒ短ク詰ル Й 字ニ止マル名辞ト陽種ノ ь 字ニ終ル名辞ノ

10

轉例ヲ示ス。

單 員

一格	попѣ.	僧ハ	Соловей.	鶯ハ	Сычѣ. ⁽¹⁰⁾	鳥名ハ	
二格	попа.	...	Соловьѣ.	...	Сыча.	...	
三格	попу.	...	Соловью.	...	Сычу.	...	
四格	попа.	...	Соловьѣ.	...	Сыча.	...	15
五格	попѣ.	...	Соловей.	...	Сычѣ. ⁽¹⁰⁾	...	
六格	попомъ.	...	Соловьѣмъ. ⁽¹¹⁾	...	Сычемъ.	...	
七格	О попѣ.	...	О Соловьѣ.	...	О Сычѣ.	...	」(19ウ)

注 1. はじめ Горѣи と書き, е を抹消 し を я と訂正。京大本 -ся. 2. はじめ

Болотьと書き、語末をыに訂正して一部抹消。ただし正：Болота。3. 正：Сердещь。4. 正：горей。5. 正：болотамь。京大本 болотамь。6. 正：болота。7. 正：болота。8. 正：болотами。9. 正：О болотахь。10. 正：Сычь。したがってьで終わる陽種名辞の例として不適切。ただし俗用形としてあった可能性あり。11. 正：Соловьемь。

復 員

1

一 格	попы.	Соловьѣ. ⁽¹⁾	Сычи.
二 格	поповъ.	Соловьевъ.	Сычевъ. ⁽²⁾
三 格	попамъ.	Соловьямъ.	Сычамъ.
四 格	поповъ.	Соловьевъ.	Сычевъ.
五 格	попы.	Соловьѣ. ⁽¹⁾	Сычи.
六 格	попами.	Соловьями.	Сычами.
七 格	О попахъ.	О Соловьяхъ.	О Сыцахъ.

5

Склоненіе Четвертое.

轉例第四

10

爰ニハ陰種ノ ь 字ニテ終ル名辞ノ轉移スル例ヲ示ス。

單 員

一 格	Лестъ.	諛言ハ	Благодѣтельность.	仁者ハ
二 格	Лести.	...	благодѣтельности.	...
三 格	Лестѣ. ⁽³⁾	...	благодѣтельностями. ⁽⁴⁾	...
四 格	Лестъ.	...	благодѣтельность.	...
五 格	Лестъ.	...	благодѣтельность.	...
六 格	Лестью. ⁽⁵⁾	...	благодѣтельностью. ⁽⁶⁾	...
七 格	О Лестѣ. ⁽⁷⁾	...	О благодѣтельностѣ. ⁽⁸⁾	... 」(20才)

15

注 1. 正：Соловыи。ゴロヴニーンの原文では Соловьѣ であつた可能性あり。2. 正：Сычей。ただし俗用形として -евъ の語尾もあつた可能性あり。3. 正：Лести。4. 正：благодѣтельности。5. もうひとつの許容形 Лестію。6. もうひとつの許容形 благодѣтельностью。7. 正：О Лести。8. 正：О благодѣтельности。

復 員

1

一格	Лести.	Благодѣтельности.	
二格	Лестей.	благодѣтельствей.	
三格	Лестямъ.	благодѣтельницамъ.	
四格	Лести.	благодѣтельности.	5
五格	Лести.	благодѣтельности.	
六格	Лестями.	благодѣтельницами.	
七格	О лестяхъ.	О благодѣтельницахъ.	

Склоненіе пятое.

轉例第五

10

爰ニ出ス所ハ中種ノヤ字ニテ止マル名辞也。其轉例左ノ如シ。

單 員

一格	Племя.	苗裔ハ	Время.	時ハ	
二格	Племяни. ⁽¹⁾	ノ	времени. ⁽²⁾	ノ	
三格	Племю. ⁽³⁾	ニ	время. ⁽⁴⁾	ニ	15
四格	Племя.	ヲ	время.	ヲ	
五格	Племя.	ヨ	время.	ヨ	
六格	Племмъ. ⁽⁵⁾	...	времмъ. ⁽⁶⁾	...	
七格	О племъ. ⁽⁷⁾	...	О времъ. ⁽⁸⁾	...	」(20ウ)

注 1. 正 : Племени. もうひとつの許容形 племя. 2. 正 : времени. もうひとつの許容形 время. 3. この形は許容形。ふつうは正 : Племени. 4. この形は許容形。ふつうは正 : времени. 5. 正 : Племенемъ. 6. 正 : времнемъ. 7. 正 : О племени. 8. 正 : О времени.

復 員

1

一格	Племена.	苗裔ハ	времена.	時ハ	
二格	Племень. ⁽¹⁾	ノ	временъ. ⁽²⁾	ノ	
三格	Племенамъ.	ニ	временамъ.	ニ	

四格	Племена.	ヲ	времена.	ヲ	5
五格	Племена.	ヨ	времена.	ヨ	
六格	Племенами.	ヨリ [,] ト	временами.	ヨリ [,] ト	
七格	О племенахъ.	ニ於テ	О временахъ.	ニ於テ	

Примѣчаніе. 附 言

凡右⁽³⁾ニ出ス轉例ハ諸名辞ノ轉移スルノ例ヲ盡スニ非ス。轉例右⁽³⁾ニ出ス者ト異ナル有リ。然レ是ハ述尽シ 10

難シ。故ニ宜ク習練ニ因テ知り得可シ。即左⁽⁴⁾ノ轉例中ニ Человѣкъ, 人 [,]

Холодъ, 寒 [,] благодѣтель, 仁者 [,] Якорь 錨ト云フ名辞ノ

中ニ Человѣкъ 人 [,] Холодъ 寒ハ ь 字ニ終ル陽種ノ名辞也。然ニ

又⁽⁵⁾благодѣтель. 仁者 [,] Якорь. 錨ノ二名

辞モ ь 字ニテ終ル陽種ノ名辞也。然ニ辞ニ因テ轉方ヲ異ニスル有リ。即左⁽⁴⁾ニ其異例ヲ 15

出ス。是ヲ見テ轉例ノ盡ス可ラス。唯習練ニ非スンハ能ハサルヲ知ル可シ。」(21オ)

注 1. もうひとつの許容形 племянъ. 2. もうひとつの許容形 времянъ. 3. 現実には「左」。4. 現実には「右」。以下では一々指摘せず。5. 「又」の字の前に「辞ニ因テ轉方ヲ異ニスル有リ」とあつて抹消。

單 員

1

一 格	Человѣкъ.	人	благодѣтель.	仁者
	Холодъ.	寒	Якорь.	錨
二 格	Человѣка.		благодѣтеля.	
	Холода.		Якорь. ⁽¹⁾	
三 格	Человѣку.		благодѣтелю.	
	Холоду.		Якорю.	
四 格	Человѣка.		благодѣтеля.	
	<u>Холодъ.</u>		<u>Якорь.</u>	

5

五格	Человѣкъ. Холодъ.	благодѣтель. Якорь.
六格	Человѣкомъ. Холодомъ. ⁽³⁾	благодѣтель. ⁽²⁾ Якорь. ⁽⁴⁾
七格	О Человѣкѣ. О Холодѣ.	О благодѣтелѣ. О Якорь. ⁽⁵⁾

Имена Прилагательныя. 属名辞

是ハ種類員数轉格并比較階級 後ニ詳也。ニ因テ轉移スル也。

10

[O]⁽⁶⁾Родѣ. 種類

Прилагательныя имена 属名辞ノ 陽種ナル者ハ」(21ウ)

注 1. 正 : Якоря. 2. 正 : благодѣтелемъ. 3. 正 : Холодомъ. 4. 正 : Якоремъ. 5. 正 : О Якорѣ. 6. 23オ 《О Степеняхъ уравни́я》による。

辞尾ニ短ク詰ル й 字有り。陰種ナル者ハ辞尾ニ я 字アリ。中種ナル者ハ辞尾ニ e 字有り。毎ニ實名辞ト種類同ウメ是ヲ連用スル也。即其例如左。

陽種	陰種	中種
<small>善男</small> Доброй мужъ.	<small>善女</small> добрая ⁽¹⁾ жена.	<small>善事</small> доброе дѣло.

[O]⁽²⁾Числѣ. 員数

5

属名辞モ實名辞ノ如ク単復ノ員数アリ。實名辞復員ナル時ハ属名辞モ亦復員ニメ連用スル也。其例左ノ如シ。

單 員	復 員
<small>善人</small> Хорошей ⁽³⁾ человѣкъ	<small>善人等</small> Хорошіе люди.

辞尾 й 字ニ止マル陽種ノ属名復員ノ時ハ此 й 字ヲ e 字ニ代ヘル也。
亦辞尾 я 或ハ e 字ニ止マル陰種⁽⁴⁾及ヒ中種ノ属名辞共ニ辞尾ニ
яヲ置ク也。如設ハ

10

單 員	復 員
<small>朗日</small> 陽種 Свѣтлый день.	<small>朗日</small> Свѣтлые дни.

陰種	朗夜 Свѣтлая ночь.	諸朗夜 Свѣтлая ⁽⁵⁾ ночи.	15
中種	朗朝 Свѣтлое уторо. ⁽⁶⁾	諸朗朝 Свѣтлыя утры. ⁽⁷⁾	」(22オ)

注 1. -ая の а と я の間に 1 字抹消。京大本同じ。2. 23オの《О Степеняхъ уравне-
нія》による。3. -р- ははじめ л とあったものを р に訂正。京大本は明瞭に р。4. 「種ノ」
とあった「ノ」を抹消。京大本もほぼ同じ。5. 正：Свѣтлыя。6. 正：утро。7. 正：
утра

[O]⁽¹⁾Падежахъ. 轉格 1

実名辞ニ轉移スル諸格有カ如ク属名辞ニモ亦然リ。故ニ是ヲ連用
スル時ハ実名辞ノ格ニ倣ヒ設クル也。

属名辞各格ニ於テ轉移スルト雖モ其轉例ハ一定シタル也。即如左。

	單員陽種	同 陰 種	同 中 種	5
一 格	熱日ハ Жаркой ⁽²⁾ день.	朗ナル天氣ハ Ясная погода.	酸キ林檎ハ Кислое Яблоко.	
二 格	Жаркаго дня.	Ясной ⁽³⁾ погоды.	Кислаго Яблока.	
三 格	Жаркому дню.	Ясной погодѣ.	Кислому Яблоку.	
四 格	Жаркой день.	Ясною ⁽⁴⁾ погоду.	Кислое Яблоко.	
五 格	Жаркой ⁽²⁾ день.	Ясная погода.	Кислое Яблоко.	10
六 格	ヨリト Жаркомъ ⁽⁵⁾ днемъ.	ヨリト Ясною погодою. ⁽⁶⁾	ヨリト Кислымъ Яблокомъ.	
七 格	ニ於テ О жаркомъ днѣ.	О ясной погодѣ.	О кисломъ Яблокѣ.	

	復員陽種	同 陰 種	同 中 種	
一 格	Жаркіе дни.	Ясныя погоды.	Кислыя Яблоки.	
二 格	Жаркихъ дней.	Ясныхъ погодѣ.	Кислыхъ Яблоковъ.」(22ウ)	15

注 1. 23オ《О Степеняхъ уравнения》による。2. 正：Жаркой。3. 正しくは
Ясныя。しかし Ясной の形も許容形。4. 正：Ясную。5. 正：Жаркимъ。6. はじめ
Ясныхъ погодѣ とあったものを形容詞語尾部分-ыхъ を抹消して下に ою と訂正し、
名詞語尾部分-ъ を-ою と訂正。京大本同じ。

三 格	Жаркимъ ⁽¹⁾ днямъ. ⁽²⁾	Яснымъ погодамъ.	Кислыхъ Яблокомъ. ⁽³⁾	1
四 格	Жаркіе дни.	Ясныя погоды.	Кислыя Яблоки.	

五格 | Жаркіе дни. Ясныя погоды. Кислыя яблоки.
 六格 | Жаркими⁽⁴⁾ днями.⁽²⁾ Ясными погодами.⁽⁵⁾ Кислыми Яблоками.⁽²⁾
 七格 | О жаркихъ дняхъ.⁽²⁾ О ясныхъ погодхъ. О кислыхъ Яблокахъ.⁽²⁾ 5

О Степеняхъ уравниенія. 比較階級

諸物ノ性質形状ヲ云フ時ニ他物ト比較セズメ云フ寸ハ Прилагате-

льное имѣ⁽⁶⁾. 屬名辞ヲ轉用スルナシ。是ヲ положительномъ

Степени⁽⁷⁾平階ト名ル也。其例如下。

Умной человекъ. 伶俐ノ人 [,] Глупая⁽⁸⁾ женщина. 痴ナル婦人 10

二物ヲ比シ其中ノ勝レタルヲ斥ス。是ヲ Уравнительной степень.

比階ト名ク。設如⁽⁹⁾ハ

Господинъ А умнѣе Господина В. А君ハウ君ヨリ伶俐ナリ。

Госпожа С глупѣе Госпожа⁽¹⁰⁾ Д. エス君ハディ君ヨリ痴ナリト云ヘルノ類是ナリ。」(23オ)

注 1. 正 : Жаркимъ. 2. スペースの関係上形容詞の下方二段に書かれているが、今移す。3. 正 : Кислымъ Яблокамъ. 4. 正 : Жаркими. 5. 正 : погодами. 6. 正 : имя. 7. 正 : положительной степень. 8. Г と л の間に у の文字あり抹消。京大本同じ。9. 「設如」ママ。10. 正 : госпожи.

事物ヲ比シ其一ノ勝レタルヲ撰ミ云フ。是ヲ превосходной 1

степень. 勝階ト名フ。如設ハ

△阿君ハ 最伶俐ナリ. △テニ中 ノ男諸ノ
 Господинъ А умнѣишій⁽¹⁾ изъ мушинъ.⁽²⁾

△エス君ハ 最痴ナリ. △テニ中 ノ人諸ノ
 Госпожа С глупѣишая⁽³⁾ изъ женщинъ.

陰陽中ノ三種ノ辞品陽種ノ辞ニテ⁽⁴⁾ положительнаго⁽⁵⁾ степень. 5

各階ニ轉移スル法如下。

平階ヨリ уравнительнаго⁽⁶⁾ степень. 比階ニ轉スルニハ

平階ノ辞尾ノ字ヲ ѣ ニ代ルナリ。如設ハ

Мудрый⁽⁷⁾ 利発ナル 是ヲ Мудрѣе ヨリ利発ナルト作シ

Счастливый⁽⁸⁾ 幸福ナル 是ヲ Счастливѣе⁽⁹⁾ ヨリ幸福ナルト作シ 10

Сердитый 短慮 是ヲ Сердите ヨリ短慮ナリト作スナリ。又

превосходного⁽¹⁰⁾ степень 勝階トナスニハ比階ノ

辞尾ニ ший ノ字ヲ加フ。如設ハ Мудрыйший⁽¹¹⁾ 最モ利發」(23ウ)

注 1. 正 : умныйший. 2. 正 : мужчинъ. ただし мушинъ の綴りも俗用された。3. 正 : глупыйшая. 4. 正 : 「陽種ノ辞ニテ」は положительного の上方に書かれるが、今、移す。5. 正 : положительной. 6. 正 : уравнительной. 7. はじめ Мудрый とあるものの не を抹消。京大本 : Мудрый. 抹消なし。8. 正 : Счастливый. 9. 正 : Счастливые. 10. 正 : превосходной. 11. 正 : Мудрыйший.

Счастливыший⁽¹⁾ 最モ幸福 [,] Сердитыйший⁽²⁾ 1

最モ短慮ト作スカ如シ。○陰種ノ辞ハ端尾ノ е, й, 及ヒ i 字ヲ я 字ニ

代ル也。如設ハ нъжая.⁽³⁾ 温順 [,] нъжныъ ヨリ温順 [,]

нъжнышая⁽⁴⁾ 最モ温順 [,] прекрасная 美麗 [,]

прекрасныъ. ヨリ美麗 [,] прекрасншая⁽⁵⁾ 最モ美麗トナスナリ。 5

中種ナル辞ノ轉例ハ右ノ陰種ノ轉例ト同シ。○平階ヨリ勝階エ

轉スルニ今一法アリ。是ハ平階ノ辞ニ пре 或ハ наи ノ字ヲ冠シ或ハ又

Самый 最ノ一辞ヲ冠セシメテ премудрый 最利發 [,]

наипрекрасная 最美麗 [,] Самая нъж-

ная 最温順ナド作ス事アリ。亦時トシテハ二三辞ヲ冠メ⁽⁶⁾ 10

самая наи прекрасншая⁽⁷⁾ トナスアレハ是ハ法外也。」(24オ)

注 1. 正 : Счастливыйший. 2. 正 : сердитыйший. 3. 正 : нъжная. 4. 正 : нъжны-
ыйшая. 5. 正 : прекрасншая. 6. 「冠メ」の後に「辞ニ因テ比」の一文があって、抹
消。7. наи は分離して書かれている。正 : наипрекрасншая.

辞ニ因テ比階或ハ勝階ニ轉移スルニ右ノ轉例ト大ニ異ナルアリ。然レ 1

此類ハ少シ。如設ハ

平階	比階	勝階
良	ヨリ良	最良
Хорошей ⁽¹⁾	Лутшей ⁽²⁾	наилутшей ⁽³⁾

大 великой	ヨリ大 большей	最大 величайшей ⁽⁴⁾
小 Малой	ヨリ小 Меньшей	最小 Малѣйшей ⁽⁵⁾

5

比階ノ辞ハ単復及ヒ七轉格ニ因テ変移スル事ナシ。然レ勝

階ノ辞ハ単復ニ因テ変シ轉格ニ因テ轉移スル也。是等ニ因テ轉變

スル法ハ平階ナル属名辞ノ轉例ト相同キ也。」(24ウ)

10

注 1. 正: хороший. ただし хорошей も許容形。2. 正: лучший. ただし ロモノソフに лутчий の形あり。3. 正: наилучший. ただし -ей は許容形。また ロモノソフに наилутчий。4. 正: величайший. -ей は許容形。5. 正: Малѣйший。

謝辞 本翻刻は静嘉堂文庫の許しを得てなされたものである。記して静嘉堂文庫に対し深甚の謝意を表します。

補 注

1. 参考文献 C・2 参照。
2. 参照: 岩井憲幸 くいはゆる『魯語文法規範』について——その成立と書名をめぐる——, 「明治大学教養論集」通巻217号 外国文学, 1989年3月。
3. 参照: 岩井憲幸 <飛騨武川家文書中のロシア関係資料——とりわけムール自筆「書翰」について——>, 明治大学人文科学研究所紀要第44冊, 1999年。

参 考 文 献

A. 文法書・文典

1. М. Ломоносовъ, Россійская грамматика, СПб., 1755. [実際の刊年は1757年。早稲田大学および東京外国語大学にそれぞれ1本蔵される。]; Rep.: Zentral anti-quariat, Leipzig, 1975.
2. Н. Кургановъ, Писмовникъ, ч. I-II [rep.] jal-reprint, Würzburg, 1978. [原本は1793年刊。]
3. グレーボフ編纂・岩澤丙吉譯『露西亞文法』, 東京, 1898.

B. 辞典

1. В. Даль, Толковый словарь живого великорусского языка, четвертое исправ-

- ленное и значительно дополненное издание под редакцією проф. И. А. Бодуэна-де-Куртенэ. т. I-IV. [rep.] Tokyo, 1984. [原本は СПб., -М., n. d. 第3版は СПб., -М., 1903-1909. 初版は М., 1863-66.]
2. Вторая отдѣленіе Императорской академіи наукъ, Словарь церковно-славянскаго и русскаго языка, т. I-IV., СПб., 1847. [Tokyo, 1989 ; 第2版 1867-68年 rep. Zentralantiquariat, Leipzig, 1972.]
 3. Академия наук СССР, Институт русского языка, Словарь современного русскаго литературнаго языка, т. 1-17, М.-Л., 1950-1965.
 4. Академия наук СССР, Институт русского языка, Словарь русского языка XI~XVII вв., вып. 1-, М., 1975.
 5. Академия наук СССР, Институт русского языка, Словарь русского языка XVIII века, вып. 1-, Л., 1984-.
 6. J. de Tatischeff (И. Татищевъ) , Dictionnaire complet françois et russe. seconde édition, t. 1-2., St. Petersburg, 1798. (Полной французской и російской лексиконъ, Второе издание, т. 1-2. СПб., 1798.)
 7. 杉本つとむ解説『和蘭字彙』I-V, 早稲田大学出版部, 昭和49年。
- C. 研究書等
1. 杉本つとむ『江戸時代蘭語学の成立とその展開』I-V, 早稲田大学出版部, 昭和51-57年; 同上〈馬場貞由の肖像「魯語文法規範」について〉, 「月刊ことばの宇宙」第2巻第4号, 昭和42年4月。
 2. 中村嘉和〈『魯語文法規範』考〉, 「一橋論叢」第77巻第3号, 昭和52年3月; E. Накамура, 〈Первые русские поэты у японцев〉, Hitotsubashi Journal of Arts and Sciences, vol. 13, No 1, September 1972.
 3. 松村 明〈幕末期ロシア語学書についての覚書〉, 「季刊文学・語学」第33号, 昭和39年9月。
 4. 日本ロシア文学会『日本人とロシア語』, ナウカ, 2000年。

(いらい・のりゆき 文学部教授)